

ふじみさらダボール子育て情報



「思考する大切さ」
平成29年11月15日号
板橋富士見幼稚園



おもちゃとパソコン

生活は、時代と共に大きく変化し、わずか5年10年前と今を比較しても、戸惑いを感じるほど大きく違ってきています。少子化や核家族化が進む中、労働力が低下し、女性の社会進出も著しく変わりつつあります。こうした中、子供と触れ合う機会が少なくなり、子供とかかわる時間も質的に変わってきています。

今日は、おもちゃについて考えてみましょう。おもちゃは、昔からある一定の意味を持つ大切な道具です。それは、思考です。考える力を常に子供に要求し、子供は虚構の世界を頭の中に空想し、頭の中で多様な自問自答を「つぶやき」として、もう人の自分と楽しみます。つまり、おもちゃはその子が一人で遊べたり、おもちゃを介して仲間を作ったりできるものなのです。

では、パソコンは、おもちゃになり得るのでしょうか。パソコンのユーチューブなどは、動画を見ていると突然の変化に驚き興味や関心を持ち、のめり込んで面白く感じるものですが、一瞬に視覚から消えていく連続のため、思考や記憶を使って何かを思い描き考える余裕がありません。



また、ゲームやワークは、正解か不正解を選択していく操作を楽しむもので、思考や認知・記憶といった、多様に自分の頭で考えるという行為がとても少ないのです。

遊びの時間を十分に取れない、今の生活の中で最も大切にしてほしいことは、対話です。家族間で常に話しかけ、しつこいほど関わることは、今求められています。短くなった家族団らんの時間を有効に使いたいものですね。

ゲーム機やパソコンは有効に使ってこそ、いまの時代に合った生活ではなのでしょうか。家族で話し合っ、上手に取り入れていきましょう。